

平成29年 第11回 (定例会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

平成29年8月30日 (水) 午後1時28分

2 閉会

平成29年8月30日 (水) 午後2時53分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 伴 俊行 森本 早苗 長門 茂明

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 沼田 和男 生涯学習課参事 伊藤 文彦

【書記】学校教育G主幹 木戸 達也

5 会議録署名委員の指名

(伴 俊行)

(長門 茂明)

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 第3回厚真町議会臨時会 (資料2)

・財産の取得 2件

【質疑なし】

7 所管報告

学校教育グループ

(1) 学校給食費の改定について (資料3)

(2) 学校給食センター運営委員会 (8月21日、総合ケアセンター) (資料4)

(3) 学校給食費改定保護者説明会 (8月24日総合福祉センター／8月25日厚南会館)

(4) 第17回小学校英語教育学会兵庫大会 (7月28日～30日、神戸市)

(5) 学校監査 (8月1日、中央小学校、厚真中学校)

(6) 学校水泳プール送迎バス利用実績 (資料5)

(7) 平成28年度会計決算審査 (8月10日、監査委員室)

(8) 第2回厚真町教育委員会外部評価委員会 (8月22日、青少年センター)

【質疑なし】

補足

沼田課長 : 前回の教育委員会で伴委員から他市町村の教職員の給食費について質問があった。それについては近隣市町のみ確認であるが、児童生徒と同額の給食費ということであった。

社会教育グループ

(1) 「世界の昆虫展」「ホログラフィー展」 7月22日(土)～8月15日(火) 青少年センター

(2) 町議会総務文教常任委員会所管事務調査 7月31日(月) (資料6)

現地調査 ①スポーツセンター・スタードーム及び周辺スポーツ施設

②厚幌ダム発掘事業の出土品の保管場所

事務調査 ①スポーツセンター・スタードーム及び周辺スポーツ施設の
運営状況と今後の方向性について

②社会教育補助団体の活動状況と今後の方向性について

③厚幌ダム発掘事業の出土品の保管状況と今後の方向性について

④厚真児童会館の今後の改修構想について (関係課：町民福祉課、建設課)

(3) 「海のとしょしつ」 8月4日(金)～5日(土) 浜厚真海岸 利用者35名

(4) 平成28年度会計決算審査 (8月10日、監査委員室)

(5) 第17回 集まりンピック 8月20日(日) かしわ公園野球場 約629名参加

(6) 第2回厚真町教育委員会外部評価委員会 8月22日(火)

(7) 「さわやか町民登山会」 8月27日(日) シャクナゲ岳 (蘭越町) 20名参加

【質疑】

遠藤教育長：社会教育グループから7点の報告がありました。何かありましたらお願いします。

佐藤職務代理：「海のとしょしつ」は初めての試みであったようだが、図書車を運行したのか。

伊藤参事：図書車を運行し、砂浜にブルーシートを敷いて本を並べた。初めての催しであり、もう少し利用者があるだろうと思っていたが若干寂しいものとなった。

佐藤職務代理：海岸には本を読む目的で来ているわけではないのが原因かもしれない。

遠藤教育長：この催しを開催するきっかけは何だったのか。

伊藤参事：職員と図書司書の発案である。

佐藤職務代理：天気の良い日に浜辺で本を開くとまぶしくて読みづらい気がする。

遠藤教育長：様々な環境の中での読書環境提供の一環だったと思われるが、ターゲットの適切さや場所の選定にも考慮する必要があったと思う。厚真の自然などを生かした、図書室だけでなく、本を読む環境の提供について次回以降は工夫してもらいたい。

長門委員：選書は海に関するものであったのか。

伊藤参事：魚に関する本など海に関する本を選書したようだ。また、子ども向けの本も選んだようだが、あまり子どもは来ていなかった。夏休み中ということで家族で来ているだろうと

想定していた。やはり会場はサーフィンをしに来ている人が多く、目立つ看板も準備していなかった。

遠藤教育長 : 試行錯誤しながら、工夫して本を読む環境を探ってもらいたい。

佐藤職務代理 : 「世界の昆虫展」「ホログラフィー展」はどれほどの来場者があったのか把握はしているのか。

伊藤参事 : 「ホログラフィー展」は来場者が少なかったように思う。ホログラフィーについては、かなり古いものである。子どもがみても感動するものではなくなってきている。

佐藤職務代理 : 「ホログラフィー展」を再開してから3～4年が経過していると思う。

伊藤参事 : もの自体は開館当時からある。

佐藤職務代理 : 借りることができるのであれば、今流行のバーチャルリアリティ (VR) のようなものを展示できればよいのではないか。ホログラフィーは限界にきていると思う。

遠藤教育長 : 来年度はどのような企画展示になるかわからないが、プラネタリウムのデジタル化に向けて、ソフトの材料として星だけでなく、昆虫等に関わる何かを上映できるのであれば、それに合わせたり抱き合わせたりするような企画展示ができると思う。

佐藤職務代理 : プラネタリウムで星だけの上映だと、星に興味のある人しか来ない。他の映像が投影できるのであれば、癒しをテーマにした映像などを投影できれば来場者も増えるのではないかと感じている。

伊藤参事 : デジタルなので、星に限ったものではなくオリジナルのものまで上映できる。

佐藤職務代理 : 360度だとどんな上映ができるかイメージが
かない。

伊藤参事 : 360度いっぱいを使わなくても、部分的にも上映できる。

遠藤教育長 : ミニシアターとしての使い道も考えられる。また、いろいろなテーマを組み合わせると企画展示を行うと幅も広がってくる。

伊藤参事 : プラネタリウム導入にあたり、業者によるデモンストレーションで、主査クラスの評価委員からは、プラネタリウム以外にもいろいろな活用方法があるという声が上がった。

8 議案

議案第1号 平成30年度使用学校教科用図書の採択について

【質疑】

遠藤教育長 : 皆さんからの質疑をお願いします。

全委員 : 特になし。

遠藤教育長 : 来年度使用するものから4年間連続で教科用図書の採択がある。来年度は中学校の道徳が新たに加わる。再来年度は小学校の全教科、その次が中学校の全教科となる。

議案第1号 平成30年度使用学校教科用図書について採択してよろしいでしょうか。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長：それではこのように決定します。

議案第2号 学校給食費の改定について

【質疑】

遠藤教育長：皆さんからの質疑・意見等をお願いします。

全委員：特になし。

遠藤教育長：段階的な改定でいうことで、スケジュールについては前回の教育委員会でお示ししたとおりであり、状況をみながら進めていきたいと考えている。

議案第2号の学校給食費については、10月分からの改定ということで決定いたします。

議案第3号 教育委員会事務局職員の懲戒等の処分について

(資料7)

【質疑】

遠藤教育長：皆さんからの質疑等をお願いします。

長門委員：事故の場所はどこなのか。

遠藤教育長：役場裏の縁石部分に接触した。

伴委員：軽い物損事故のようなので始末書で納まらないのか。

遠藤教育長：懲戒処分となる。

沼田課長：文書注意以上は勤勉手当にも影響がでる。公用車を運転するときは細心の注意を払うように指示されているので、そのことから義務違反となる。

伴委員：公用車ではなく、自家用車の物損でも報告することになるのか。

沼田課長：公務に限らず、事故・違反についてはすべて報告する義務がある。
今回については、教育長名で文書注意となる。

遠藤教育長：議案第3号 教育委員会事務局職員の懲戒等の処分について決定してよいでしょうか。

全委員：異議なし。

遠藤教育長：このように決定いたします。

9 協議事項

(1) 教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

(資料8)

【質疑】

遠藤教育長：皆さんからの意見等をお願いします。今回は、点検・評価の様式を変更し、今後の事業展開に結びつけるとともに、見やすいものとした。

資料8の報告書をもって議会に報告するということがよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

10 その他

【中学生海外派遣研修事業】

沼田課長：記載はしていないが、手上げ方式の中学生の海外派遣研修事業に2回目の保護者説明会を9月1日に福祉センター、9月4日に厚南会館で行う予定である。今回の説明内容については、4月の保護者説明会で事業概要を説明したが、旅行会社と日程等の詳細を調整したので、その内容を2回目の保護者説明会に示す予定である。視察先については費用や時差の関係によりオーストラリアとしたい。保護者説明会の結果については、9月の定例教育委員会で報告したい。また、説明会后には、対象となる中学1・2年生の保護者に説明会の内容を示した文書を配布するとともに、行く・行かないなどの意向調査を行う予定である。その意向調査の結果を考慮し、今後、事業の検討を行いたいと考えている。

【全国学力状況調査】

遠藤教育長：本年度の結果については、小学生は国語・算数ともに全国平均を超えた。中学生は国語は全国平均を超えたが、数学は全国平均を下回った。

平成24年度の結果が低かったことから、全国平均を上回ることが学力向上推進委員会の目標であり、目標に到達していたが今回は中学生の数学で達することができなかった。しかし、母数が40人前後であり、1人が1問正解するかしないかで2.5ポイントくらい変わってくるので、一概には言及できない。総合的な判断や分析が必要である。各学校へは学力向上改善プラン等を徹底して行うよう周知しているところである。

気になったことは、児童への質問紙の中で子どもたちの生活や規律への考えや行動に関する回答である。例えば、思いやりや意欲があるか、地域の行事に参加しているかの質問には、対象者は違うが昨年度の状況から比較すると割合が少ないように感じている。学力というものは、成長過程の一部であって、生活や体力を含めて細かくみていく必要があると思う。

学テの結果に一喜一憂する気はない。結果を受けて子どもたちの経年変化や今後どのようにしたらよいのか、厚真の教育をどのようにしていくのかをしっかりと再認識していきたい。また、学力向上推進委員会の新たな方向性や組織の在り方について近いうちに教育委員に示して意見をいただきたいと思っている。

11 次回委員会の開催日程

・9月29日（金） 午後1時30分（予定）

※交通安全のパレードが同日開催予定となっているので、開催時間を1時間ずらして午後2時30分開会とする。

12 閉会

厚真町教育委員会会議規則第18条の規程により署名する

平成 年 月 日

教育長

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

生涯学習課長（調製）